

細 則

1 試合方式

- (1) 試合はトーナメント、90分6回戦制とし、85分を過ぎた場合は新しいイニングに入らない。
- (2) コールドゲームは、5回以降7点差とする。
- (3) 全試合、同点の場合は、タイブレーク方式（継続打順、0アウト1塁・2塁）を1回実施する。
それでも同点の場合は選手3名による抽選とする。
- (4) 1人の投手が1日に投球できる数は、70球以内（4年生以下60球以内）とする。タイブレークとなった場合、1日規定投球数以内で投球できる。なお、投球数の管理は、大会本部において行う。

- 2 ベンチは、組合せの若い番号を1塁側とする。
- 3 各グラウンドのローカルルール適用とする。
- 4 シートノックは、各チーム当日1試合目開始前5分間行う。ただし、大会運営上、シートノックを行わず試合を開始することがある。
- 5 全会場での練習において、フリーバッティング及び外野ノックは禁止とする。
- 6 本大会期間中、チーム責任者は必ず「野球規則」、「競技者必携」を持参すること。
- 7 第1試合開始30分前に、監督・主将はメンバー表4部を大会本部に持参し攻守を決める。第2試合以降のチームは、3回終了後または開始予定時刻20分前にメンバー表を本部に提出し攻守を決める。
- 8 グラウンド整備は、試合の終了後、両チームで行うこと。
- 9 審判は、大会1日目は帯同審判が行う。2日目以降は、球審のみ軟式野球連盟日立支部審判が担当し、塁審は帯同審判員が担当すること。審判員はルールに精通している指導者とし、服装も審判員にふさわしいものとする。（帽子着用、半ズボン禁止）
- 10 大会期間中における選手等の怪我など、また、駐車場、観覧席における事故、盗難等について、大会本部は、一切責任を負わないものとするため、各チームにおいて十分配慮すること。
- 11 チーム責任者は、公共施設並びに企業施設利用についてのマナーに十分配慮すること。
- 12 応援については、選手を委縮させるような言動、大会を害するような行為等は厳に慎み、運営に支障を来たすようなことがないよう、各チームにおいて十分配慮すること。
- 13 雨天時の問い合わせは、午前6時以降とする。

滑川和之 090-1421-7360 佐藤誠治 090-4207-8569 坂本隆夫 090-7846-0126

※大会初日が雨天のため順延となった場合や会場の変更の時は、大会本部よりご連絡いたします。

以 上